



利用モラルの向上が望まれる携帯電話

問 ① 掲示板やブログ等に嫌がらせの書き込みをされた例など、携帯電話利用上の問題が本市でも発生している。教職員に対し情報モラル等の研修をし、子どもたちに有害サイト等の危険性を認識させる指導や利用モラルを身に付けさせる指導、トラブル対処法などを指導、助言している。今後機会をとらえて指導していきたい。

答 ② 県との整合性を図りながら平成17年に総社市子ども読書活動推進計画を策定し、学校での朝読書やボランティア団体との連携による読み聞かせ体験活動の活性化に大きく寄与したと考えて

問 ① 職員のメンタルヘルス対策はどうしても必要と考える。庁内ケアシステム、カウンセラーの設置によりフォローしてほしいかどうか。

答 ② 人事考課制度では、期待するもの、気をつけていくべき負の部分、どのようか考え、配慮していくのか。

問 ① 心の健康づくり講演会の開催、メンタルへ

本市の取り組みはどうか。

いる。今後、学校、地域、関係機関等と連携しながら、現計画の成果と課題の把握、分析に努めていきたい。(教育長)

職員のスキルアップについて

いる。今後、学校、地域、関係機関等と連携しながら、現計画の成果と課題の把握、分析に努めていきたい。(教育長)

要があると思うが、学校行事の現状に問題はなにか。

学校行事について

問 梅雨期のプール開きと夏休み早々のプール納め、残暑の時期の運動会開催などは、子どもを主体とした日程設定を考える必要があるか。



答 各学校では、2月に学校行事の成果を検討した上で、課題を明確にし、行事の見直し、精選を慎重に検討し、次年度の学校行事の全体的な日程を決めている。しかし、学校行事はその学校の伝統的教育活動を含むことや、地域の実態、他行事との関連などを慎重に検討する必要がある。急に大きく変更することは難しい実態がある。プールは水温、気温をこまめに測定し、一定基準に基づき、健康面に留意しながら行っている。運動会は地域や保護者とのコンセンサスを得る必要があるが、9月が熱中症も心配されるため、次年度教育課程の編成時に見直しをお願いしている。今後は教育課程の大幅見直しも考えられるので、この機会に学校行事等の時期の見直しを学校と協議していきたい。(教育長)

渡邊 繁雄

市長の政治姿勢について

問 ① 地球温暖化防止の取り組みとして、目標を設定して計画的に進めるとともに、宣言都市の表示、表明をしたらどうか。

答 ② 医療問題、ごみ袋の低料金化、農家への新補助制度などの取り組みは、財政面を考えると絵にかいたもちになりはしないか。

問 ③ 清音地区で買物等をする場合、お年寄り等の弱者に不十分と思われるので、用途区域の見直しをして、ショッピングセンターの誘致を進めてほしいが、考えはどうか。

談しながら検討していきたい。

答 ② 現在、医師会では夜間診療体制は内科施設で在宅診療が主流となる感じであり、3次救急体制は1台救急車を追加し、救急救命士の育成、ドクターヘリの活用も取り組みたい。無医地区の足の確保は、ダイヤモンドタクシーなども含めて検討したい。ごみ袋の低料金化は、ごみの減量化計画の状況、財政状況、暮らしへの影響を勘案し、市民の意見をよく聞いて検討を加えたい。小規模農家への独自支援はできていないが、農業公社の活用など農家が元気になるような支援策を検討したい。

問 ③ 清音地区で買物をする場がない現状が不便の最たるものと思うので、住民の

根馬 和子

教育行政について

問 ① 青少年の携帯電話によるメール、チャット書き込みで陰湿ないじめ被害を受ける子どもが多いが、

問 教育は人づくりである。人が人をつくる教育環境を整備するために教育委員会の果たす役割は大きい。教育は深い愛情と強い正義感を養成することだと思ふ。思いやりを大切にできる子どもを育てていけば、いじめも少なくなる。教育は生涯を通じて受けるもの。生涯学ぶことでよい家庭が築けると思ふ。(教育委員長)

答 教育は人づくりである。人が人をつくる教育環境を整備するために教育委員会の果たす役割は大きい。教育は深い愛情と強い正義感を養成することだと思ふ。思いやりを大切にできる子どもを育てていけば、いじめも少なくなる。教育は生涯を通じて受けるもの。生涯学ぶことでよい家庭が築けると思ふ。(教育委員長)

剣持 堅吾

政治姿勢について

問 ① 後期高齢者医療制度に市民が不安や不満を感じており、専門窓口の開設など円滑な対応をする必要があると考えはどうか。

答 ② ふるさと納税制度が5月から始まったが、自治体間の知恵比べと自覚し、どう取り組んでいくのか。

問 ③ 山手まちづくり協議会の意見要望の中で、都市計画の線引きの見直し要望があるが、関係住民へのアンケート、説明会等の対応をいつごろ予定しているのか。

十分なまま短期間での事務の移行が混乱を招いており、市民への周知不足を肝に銘じて説明会を開催するとともに、国・県、広域連合に市民の声を伝えていきたい。市の窓口体制を集中強化して、周知徹底するよう心がけたい。

問 ② 5千円を超える寄附金について所得税や市県民税を税額控除することでふるさとへの納税を実現しようとするもので、純粋に総社を応援してくださる方に「ふるさと総社応援団」の名称で寄附金を募る予定であり、これを積極的にPRしていきたい。

問 ③ 線引き見直しのアンケートは7月ごろの予定だったが、説明会を先行してほしいということ、早急に実施すべく準備をしている。(市長)

観光行政について



れんげ畑が広がる備中国分寺周辺

問 民間主導でれんげの開花が進められ、観光客誘導に一役買っているが、将来れんげ畑を全市に広げ、れんげ米という名称を使って米のブランド化に取り組むなど観光PR施策を展開する考えはないか。

答 総社吉備路商工会を中心とした日本一のれ